



学校だより

新潟市立中之口東小学校 2024. 9. 26
 第378号 児童数112名
 ホームページ
<https://www.kiranico.jp/>



ある朝の出来事から

校長 大関 正人

ある朝、両手がふさがっていて傘が差せない児童を見掛けました。すると、「ぼくがやります！」

と言って、駐車場から児童玄関まで雨に濡れないようサポートしている児童がいました。

その光景を目にしたとき、私は心が温かくなるとともに、以下のような思いが湧いてきました。

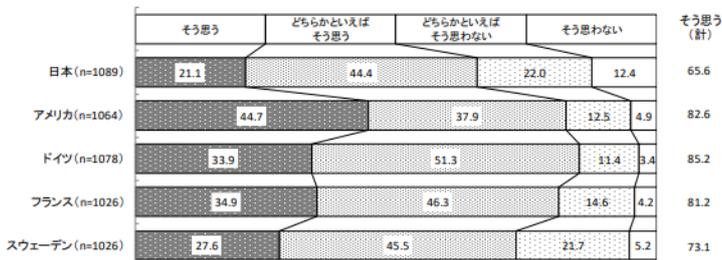
- ・こんな場面をもっとたくさん見付けたい
- ・見付けたすてきな姿を広めたい
- ・東っ子同士がクラスを超えても見付け合えるようにしたい



そこで、図のようなポスターを校内の数か所に掲示しました。子どもたちは、自分のiPadを使って、すてきだと思った人や出来事をフォームに入力して伝える仕組みです。

まだその方法を正式に伝えていないにもかかわらず、早速いくつかの書き込みがありました。「〇〇さんの朝の挨拶がうれしかった」「音楽の時間に進んで楽器を配ってくれた人がいて、助かった」など、温かいメッセージが届いています。これらの情報は、近くの先生を中心に、本人にフィードバックしていけるようにしていきたいと考えています。

自分には長所があると感じている (%)



こども家庭庁「令和5年度 我が国と諸外国のこどもと若者の意識に関する調査」より

日本の子どもたちは自己肯定感が低いと言われることがよくあります。実際、いくつかの国際調査の結果を見ても、日本の子どもたちは諸外国に比べて自己肯定感が低い傾向があることが示されています。

自己肯定感が低いことが必ずしも悪いことではないという意見もある一方で、自己

肯定感の高さは、「挑戦心」「達成感」「規範意識」「自己有用感」と相関していると言われていいます。文部科学省でも、子どもの自己肯定感を育むことが推奨されています。

当校の教育ビジョンにも、今年度から「自己肯定感」という言葉が追加されました。自己理解や自己受容を深めながら、様々な体験を通して成就感や達成感を味わい、他者から認められる機会を増やすことで、自分に対する肯定的な気付きが得られる場面をつくっていきたいと考えています。